

## 医事課

医事課長 竹崎 智博

---

### 2020年の現況

2020年は、コロナウイルスにより医事業務が増加し、日々変わる状況に対応した慌ただしい1年であった。2月は、コロナ対応に追われる中、四国厚生支局による適時調査が実施された。適時調査は、特に大きな指摘もなく無事調査を終えた。

3月初旬には、県からの要請に従い帰国者接触者外来を設置した。同時に保健所からのPCR検査に依頼に対応した。また、電話処方も開始となった。

4月は、診療報酬改定の対応を行った。コロナ禍で、改定説明会もほとんど開催されない状況下での改定となった。4月は、新設された地域医療体制確保加算やICU早期栄養介入加算等の届出を行った。

5月は、改定の最重要課題であった急性期一般入院料1（7対1）の重症度Ⅱ達成の新基準達成に向けて対応をおこなった。院内全体で重症度、医療・看護必要度Ⅱの説明会を開催し、改定での変更点や重症度ⅠとⅡの違いなど説明を行った。重症度達成の為の課題であった「軽症患者の早期退院」、「長期入院患者の退院促進」について病院全体で取組んだ結果、平均在院日数の短縮が進み6月以降は安定して基準を達成することができた。9月に無事届出を提出した。

7月は、診療科の細分化の対応を行った。内科を循環器内科、消化器内科、呼吸器内科など6診療科に分け、外科を消化器外科、呼吸器外科など3診療科に細分化した。細分化に伴い、レセプトの電子送信の変更等を審査支払機関に相談しながら対応した。また、月遅れの紙レセプト請求を廃止し、すべて電子請求に切り替えた。これにより、手作業による集計業務が大幅に軽減され、残業時間の短縮に繋がった。今後は、より詳細な診療科別のデータ分析が可能となる。

9月は、電子カルテPC端末の入れ替えに伴い、電子カルテ管理課と協力して対応した。約2000台の端末入れ替え作業は、3日間にも及んだ。完全停止期間中は、医事スタッフを増員し対応した。停止期間中の紙カルテ運用では、電子カルテが使用できない災害時をイメージすることができた。

10月は、選択式コメントの対応を行った。特に部位コードのマスタ設定は、多くの時間を要した。

11月は、病床機能報告を提出した。

12月は、高知県の医療体制のフェーズが3へと引き上げられ、県からの要請に従い、受入れ準備を行った。(SCU15床→CU7床)

### コロナ対応（受付対応）

2月 患者及び面会者の検温開始。

3月 帰国者・接触者外来の設置。保健所依頼のPCR検査に対応。電話処方を開始。

4月 全面面会禁止。面会禁止に伴い、荷物の受け渡し業務が開始。面会書の記載も開始。

6月 見舞客の案内係として2名の医事課パート採用。

10月 面会禁止に伴い、I-PADを利用したWEB面会サービスを開始。医事課にWEB面会担当者1名を採用。

12月 高知県からの要請に従い、コロナ感染症の重症患者受入れの為にCU病棟(7床)を立ち上げた。

#### ■医事課の配置状況について(2021.1.1)

医事課職員は、93名

配属先は以下の通り

【近森病院】81名

(課長)1名 (入院係)19名 (受付係)15名 (計算カウンター)17名

(文書係)9名 (カルテ室)5名 (未収金係)6名

(地域医療連携センター)3名 (その他)3名

【近森リハビリテーション病院】7名

(入院)2名 (外来)5名

【近森オルソリハビリテーション病院】1名

(入院)1名

【訪問看護ステーションちかもり】1名

※その他、育休・産休中 8名

#### ■医事統計資料より(2020年)

2020年の統計資料を振り返ると、近森病院の新入院患者数は、298人増加、外来患者数は5806人減少となった。平均在院日数は12.6日で前年より0.9日短縮となり、救急搬入件数は6,412件で前年より455件減少した。救急搬入件数のうち入院は3583件と前年より58件減少したが、入院比率は、55.9%と前年より2.9%のアップとなった。紹介患者数は、290件の増加となった。

近森病院の稼働実績は入院・外来共に増収となった。

入院稼働額の増加の要因としては、新入院患者の増加、手術件数の増加や平均在院日数短縮により高回転・高単価となったことが要因と思われる。

外来稼働額の増加の要因としては、患者数は減少したものの高額な薬剤の使用が影響した。

年々、厳しくなる診療報酬の中、近森会全体の収入は前年対比+1.84%と増加しており、コロナ禍の中でも重症患者を受入れる体制を整えて、早期退院・転院に病院全体で取り組んだ成果が現れた1年であった。医事課として、これまで以上にデータ分析をしっかりと行い、より詳細なデータ収集に努め、診療現場にフィードバックしていきたいと思う。

■施設基準の届出状況(新規のみ)

No.	届出項目	内容	提出日
1	遠隔モニタリング加算(心臓ペースメーカー指導管理料の加算)	【特掲】新規届出	2020/4
2	全身MRI撮影加算	【特掲】新規届出	2020/4
3	精神科退院時共同指導料 1	【特掲】新規届出	2020/4
4	精神科退院時共同指導料 2	【特掲】新規届出	2020/4
5	導入期加算1	【特掲】新規届出	2020/4
6	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	【特掲】新規届出	2020/4
7	早期栄養介入管理加算(ICUの加算)	【基本】新規届出	2020/4
8	総合評価加算(入退院支援加算の加算)	【基本】新規届出	2020/4
9	救急医療管理加算	【基本】新規届出	2020/4
10	せん妄ハイリスク患者ケア加算	【基本】新規届出	2020/4
11	地域医療体制確保加算	【基本】新規届出	2020/4
12	地域歯科診療支援病院歯科初診料	【歯科基本】新規届出	2020/4
13	歯科外来診療環境体制加算2	【歯科基本】新規届出	2020/4
14	歯科治療時医療管理料	【歯科特掲】新規届出	2020/4
15	摂食嚥下支援加算(摂食機能療法の加算)	【特掲】新規届出	2020/5
16	連携充実加算(外来化学療法加算1の加算)	【特掲】新規届出	2020/6
17	胸腔鏡下弁形成術	【特掲】新規届出	2020/9
18	胸腔鏡下弁置換術	【特掲】新規届出	2020/9
19	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料(遠隔モニタリング加算)	【特掲】新規届出	2020/10
20	不整脈手術 (左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるものに限る))	【特掲】新規届出	2020/12

■DPC 係数

DPC 係数については、医療機関群は、前年に引き続き DPC 特定病院群で、医療機関別係数で見ると、0.0470 のプラスとなった。

内訳は、基礎係数が、+0.0027 のプラス、機能評価係数Ⅱ0.0018 のプラス、機能評価係数Ⅰ0.0425 のプラスであった。機能評価係数Ⅰの地域医療体制確保加算の新設などの影響が大きい。

	2019.12 時点	2020.12 時点	2020-2019
医療機関群	DPC 特定病院群(Ⅱ群)	DPC 特定病院群(Ⅱ群)	-
基礎係数	1.0681	1.0708	+0.0027
機能評価係数Ⅱ	0.0993	0.1011	+0.0018
機能評価係数Ⅰ	0.2769	0.3194	+0.0425
医療機関別係数	1.4443	1.4913	+0.0047

近森病院(急性期)

	2019年	2020年	差異(2020-2019)
外来患者数	144,272	138,466	-5,806
新入院患者数	10,341	10,639	298
退院患者数	10,332	10,650	318
延入院患者数	149,444	142,989	-6,455
病床稼働率	90.6%	86.4%	-4.1%
平均在院日数	14.5日	13.4日	-1.0日
手術件数	3,315	3,516	201
救急搬入件数	6,867	6,412	-455
紹介患者数	5,189	5,479	290

近森病院(総合心療センター)

	2019年	2020年	差異(2020-2019)
外来患者数	41,509	37,118	-4,391
新入院患者数	286	235	-51
退院患者数	305	255	-50
延入院患者数	18,596	16,051	-2,545
病床稼働率	84.9%	73.1%	-11.8%

近森リハビリテーション病院

	2019年	2020年	差異(2020-2019)
外来患者数	15,626	14,970	-656
新入院患者数	734	672	-62
退院患者数	740	694	-46
延入院患者数	58,501	54,376	-4,125
病床稼働率	89.0%	82.5%	-6.5%

近森オルソリハビリテーション病院

	2019年	2020年	差異(2020-2019)
外来患者数	15,264	12,551	-2,713
新入院患者数	578	587	9
退院患者数	574	607	33
延入院患者数	36,248	34,933	-1,315
病床稼働率	99.3%	95.4%	-3.9%

近森会グループ全体

	2019年	2020年	差異(2020-2019)
外来患者数	216,671	203,105	-13,566
新入院患者数	11,939	12,133	194
退院患者数	11,951	12,206	255

延入院患者数	262,789	248,349	-14,440
病床稼働率	90.9%	85.7%	-5.2%